

八月 霞が関寄席

2010年8月18日(水)

神田織音の江戸へいざなう講談会

受付① 17:30～18:30 エキスパート倶楽部

- ★エキスパート倶楽部受付では、その場で1ドリンク券を使ってお飲み物が注文できます。
- ★エキスパート倶楽部では、寄席の前に簡単なお食事も可能です。(別途料金)

受付② 18:45～スタジオ受付

- ★スタジオ受付では、当日以降、エキスパート倶楽部でお使いになれる1ドリンク券をお渡しします。

開演 19:00 (20:30 終演予定)

- ★スタジオでの飲食物の販売はおこなっておりません。また、スタジオでのご飲食はご遠慮いただいております。

出演者

神田織音

木戸銭

一般・Web会員 2,000円
メンバー 1,500円
※エキスパート倶楽部1ドリンク券付き

申込方法

Webサイトで受け付けています

<http://www.kk2.ne.jp>

※お申し込みには「霞が関ナレッジスクエア」Web会員(無料)への登録が必要になります。

★できるだけ事前にお申し込みください

次回9月17日(金)

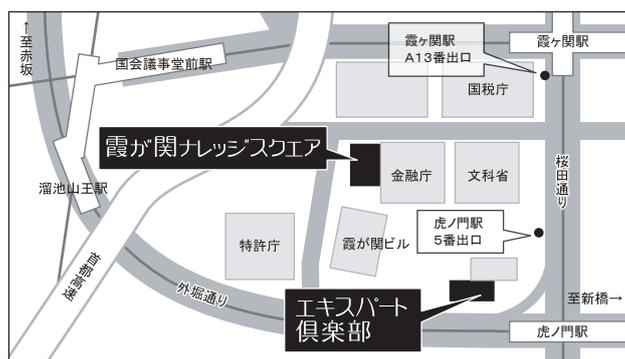
出演・三遊亭きん歌・鈴々舎わか馬

主催

霞が関ナレッジスクエア

会場

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート ショップ&レストラン西館3階
霞が関ナレッジスクエア「スタジオ」



- ・銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩1分
- ・丸ノ内線/千代田線/日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩6分

お問合せ先

財団法人高度映像情報センター (AVCC) 霞が関ナレッジスクエア 事務局担当 丸山・河合・秋葉
電話 03-3239-1121 FAX 03-5157-9225



霞が関から文化力プロジェクトとは文化がもたらす豊かさなどを霞が関から発信し、社会を元気にしていくことを目的とする、文化庁が推進しているプロジェクトです。



神田 織音 (かんだ おりね)

芸歴

高校時代から芝居の勉強を始める。その後約十年芝居に携わる。
1999年4月 神田香織に入門 講談協会所属 (芸名 神田おりね)
1999年9月 前座
2003年4月 ニツ目昇進 (芸名 神田織音)
2006年12月 成年後見講談を発表
2009年3月 講談を広く知っていただくユニット「講談女伊達」を結成。

仕事経歴

講談一席 (地域寄席・敬老会・イベントなど)
学校講演 (講談一席・講談の特徴など)
バス添乗 (講談師と行く赤穂義士ゆかりの地ツアー・他ご希望に添って)
成年後見制度のPR 講談 (実話を基に成年後見制度の必要性を訴える)
企業 (商品) を講談で説明やPR (石井食品株式会社)
講談を活用した地域情報の発信 (東京都港区)

取り組んでいること

● 講談の可能性を活かして

「講談で成年後見制度 <http://www.wel.ne.jp/koudan/>」

認知症や重度の障害をお持ちでお金の管理や契約等が難しい方のために、信頼出来る第三者がそのお手伝いをすると言う制度。世界に先駆けて超高齢社会を迎えた日本にこの先なくてはならない制度です。まずは講談を通じて実例を知って頂き、制度への興味を持って頂けたら幸いです。

「講談で広報活動 石井食品株式会社」

石井食品株式会社の食に対する真摯な姿勢、安全への徹底したこだわりを肌で感じた私が、講談を通じ石井食品の食育活動を応援したいと、食品の安全性や取り組みを講談で紹介させて頂いております。

「講談で地域情報を発信 東京都港区」

CO2削減や地域防災の取り組み等、生活に身近で重要な行政の施策や事業をテーマとした講談で、地域住民の皆様に知っておいて頂きたい地域情報の周知を図る。

● 講談の間口を広げよう

「講談女伊達を結成」

個人芸である講談ですが、より広くのお客様に講談を知って頂きたいと女性講談師五人でユニットを組み、定期的に口演活動を行う。

「現代を舞台に若者の葛藤を描く青春講談を創作」

趣味 芸術鑑賞・民謡三味線・新舞踊・里帰り

特技 剣道二段・カラーコーディネーター 1級

ホームページ <http://www004.upp.so-net.ne.jp/orine/>